

manaVIVA

ジュニア

ニュースクリップ

17日 6434人が亡くなった阪神大震災は、発生から23年となりました。兵庫県内各地で鎮魂と記憶の継承を願う追悼行事があり、市民らが地震発生時刻の午前5時46分に合わせて黙とうしました=写真。自然災害が相次ぎ、南海トラフ巨大地震など将来への懸念が拡大する中、復興への歩みを語り継ぎ、いかに次世代の教訓にできるかが課題となっています。



19日 オウム真理教による東京・地下鉄サリン事件を含む四つの事件で、殺人罪などに問われた元信者高橋克也被告(59)の上告棄却が決定し、地下鉄サリン事件で夫を亡くした高橋シズエさん(70)が都内で会見して「事件を知らない若い人に伝えていく機会を増やしたい」と語りました=写真。教団を巡る一連の事件の刑事裁判が強制捜査から23年で事実上すべて終了しました。



20日 国際オリンピック委員会は、平昌冬季五輪への北朝鮮の参加を正式決定し、スキー、アイスホッケー、スケートの3競技10種目に22選手が出場すると発表しました。五輪初の南北合同チームをアイスホッケー女子で結成し、開会式では「統一旗」を掲げた合同入場行進も。北朝鮮に五輪出場枠はなく、委員会は「例外的な決定」としました。

SDGsのパネルを見る米野小の児童たち
=名古屋市市中村区の「なごや地球ひろば」で



名古屋市中村区にある国際協力機構中部国際センター(JICA中部)の体験型施設「なごや地球ひろば」。そこに、SDGsの十七の目標を示すパネルがあります。昨年十月、展示が始まりました。
今月十六日、施設の見学に来た同区の米野小学校五年生に、JICA中部職員の後藤千明さんは「世界には、ご飯を食べるとか、当たり前のことができない地域もあります。SDGsは、そうした問題がなくなるように世界を変えるための目標です」と説明しました。
地球上の人が健やかに暮

「SDGs」って、聞いたことはありますか。「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略で、人間が住みやすい地球を将来の世代に引き継ぐため、2030年に向けて世界が合意した目標です。一人一人がどう行動すべきかを考えるきっかけにもなり、授業で活用する小学校もあります。(佐橋大)



今週のテーマ

SDGs

貧困改善など
17の目標を示す

住みやすい地球のこそう



SDGsについて調べた内容を発表する児童=愛知県武豊町の富貴小学
知里武豊町の富貴小学

学校の授業で アイデア発表

SDGsを、授業に取り入れる学校もあります。愛知県武豊町の富貴小学の児童が、SDGsについて調べた内容を発表する様子。児童は「世界は一人一人が飢餓に苦しんでいる」といった肌感や、温暖化、水不足の環境悪化の現状と、その解決を目指す企業やNPOの取り組みをインターネットなどで調べ、紙にまとめました。「私にできること」も考え、書きました。「感謝して食べる」「飢餓をゼロに」「エアコンの温度設定を変える」「気候変動に具体的な対策を」「節水をする」「安全な水とトイレを世界中に」「剪金し協力」を世界中に、「剪金し協力」を世界中に、「剪金し協力」を世界中に、

らし続けるには、飢餓や不平等をなくすほかに、良好な自然環境も必要です。慶応大大学院の鎌江憲史教授は「二酸化炭素の排出が増え、広大な熱帯雨林が失われるなど、地球環境は深刻な危機に直面しています。地球のことも、社会のことも考えた発展でないと、良い未来になりません」と述べます。こうした考えから、学校の授業でアイデア発表の機会を設け、児童がSDGsについて学び、自分たちが何をすべきか考える取り組みは素晴らしい」と指摘します。「SDGsは社会のさまざまな課題を含み、多くの人が関心を持ちうる目標です。子どもの貧困や男女の平等など日本の社会が解決を迫られる問題もあります。SDGsをヒントに、あるべき未来にたどり着くにはどうしたらよいかを政府や企業をはじめ、あらゆる立場の人に考えてもらえたら」と話します。

- SDGsの17の目標
- 1 貧困をなくそう
 - 2 飢餓をゼロに
 - 3 すべての人に健康と福祉を
 - 4 質の高い教育をみんなに
 - 5 ジェンダー平等を実現しよう
 - 6 安全な水とトイレを世界中に
 - 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
 - 8 働きがいも経済成長も
 - 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
 - 10 人や国の不平等をなくそう
 - 11 住み続けられるまちづくりを
 - 12 つくる責任 つかう責任
 - 13 気候変動に具体的な対策を
 - 14 海の豊かさを守ろう
 - 15 陸の豊かさを守ろう
 - 16 平和と公正をすべての人に
 - 17 パートナースHIPで目標を達成しよう

「人や国の不平等をなくそう」など社会を良くする内容があり、互いに密接に関係しています。具体的に百六十九の項目(ターゲット)も定めましたが、例えば、それぞれの国が三〇年までに、貧困状態の人の割合や、小売り・消費レベルで一人当たりの食料の廃棄量を半減させる、といった行動です。すべての国は目標に向け努力することを求められています。国内でも滋賀県は昨年一月、県の政策にSDGsの考え方を取り入れると宣言。SDGsに合うかどうかという視点で政策を決めています。「滋賀県を、ずっと暮らしやすい地域にするため」と担当者話します。